環境省
Ministry of the Environment

「デコ活」～くらしの中のエコろがけ～

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動

地球環境局　脱炭素ライフスタイル推進室

令和８年11月

デコ活
くらしの中のエコろがけ

【参考】「デコ活」の背景（1/2）

環境省

○脱炭素の実現に向けては、2030年家庭66%、運輸35%、非エネ14%、業務51%削減など、暮らしの分野でも大幅な削減が求められる。

2030年度目標に向けた2024年度実績の進捗

温室効果ガス排出量・吸収量（単位：百万t-CO_2）		2013年度実績※1	2024年度実績※1	2024年度削減率	2030年度削減目標・目安※2	2040年度削減目標・目安※2
		1,395	**9.94**	**▲27%**	**▲46%**	**▲73%**
エネルギー起源CO_2		1,235	907	▲27%	▲45%	▲70～71%
部門別	産業	463	334	▲28%	▲38%	▲57%～61%
部門別	業務その他	235	162	▲31%	▲51%	▲79%～83%
部門別	家庭	209	146	▲30%	▲66%	▲71%～81%
部門別	運輸	224	187	▲17%	▲35%	▲64%～82%
部門別	エネルギー転換	104	79.1	▲26%	▲47%	▲81%～91%
非エネルギー起源CO_2、メタン、N_2O		131	108	▲16%	▲14%	▲29%
HFC等４ガス（フロン類）		28.9	32.2	+12%	▲44%	▲72%
吸収源		-	▲52.3	-	-	-
二国間クレジット制度（JCM）		官民連携で2030年度までの累計で１億t-CO_2程度の国際的な排出削減・吸収量を目指す。我が国として獲得したクレジットを我が国のNDCの達成のために適切にカウントする。				

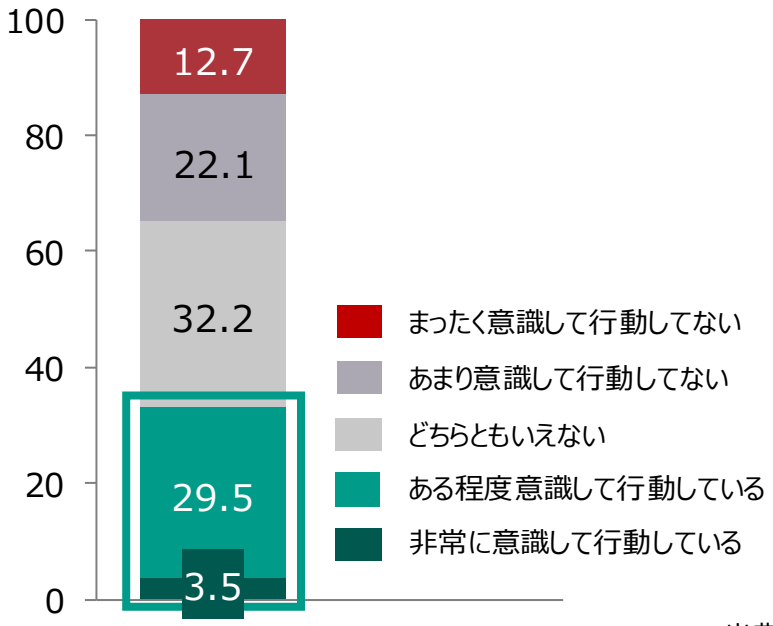
※１　2026年4月に気候変動に関する国際連合枠組条約事務局に提出した温室効果ガス排出・吸収目録（インベントリ）（2024年度）の報告値。
※２　エネルギー起源CO_2の各部門は目安の値。

【参考】「デコ活」の背景（2/2）

○９割の方々が脱炭素という用語を認知している一方、そのために何をしたらよいか分からないなど、具体的な行動に結びついているとは言えない状況にある。

「脱炭素」という言葉を知っている人は90.8%、行動に移している人は33.1%

どの程度脱炭素社会に向けた行動をしているか



脱炭素について若年層では、「よくわからない」、「意識・貢献できる瞬間がない」と回答した人が約６割

脱炭素社会の実現に向けて取り組むことについて、正直どのように思うか（とてもそう思う＋そう思う）（10代～20代の回答）

(%)

正直、よくわからないので、やるべきことを決めてくれたら従う	59.4
正直、意識・貢献できる具体的な瞬間がない	58.5
正直、自分一人でやっても変わらない	56.9
正直、取り組むモチベーションが続かない	50.2

出典：博報堂「第二回 生活者の脱炭素意識＆アクション調査」～2022 年 3 月調査結果～

「デコ活」の概要

○**「デコ活」**（※）は、2022年10月に始まった、**脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの実現**に向けた**消費者の行動変容・ライフスタイル転換**の取組の総称。

（※）一般公募と選定会議を経て23年10月に決定された愛称。脱炭素(Decarbonization)、エコ(Eco)、活動・生活を組み合わせた言葉。

○行動変容・ライフスタイル転換を喚起すべく、より豊かでより快適・健康な生活と2030年度温室効果ガス削減目標を同時達成する**新しい暮らしや具体的な取組（アクション）を提案**。

○単なる呼びかけにとどまらず、**企業団体等による消費者への働きかけ（プロジェクト）を後押し**。



具体的な取組の例

まずはここから	住	断熱住宅
	住	エコグッズ
	食	食べ残しゼロ
	職	テレワーク
ひとりでにCO2が下がる	住	高効率給湯器　等
	移	次世代自動車
	住	太陽光発電
みんなで実践	衣	サステナブルファッション　等
	住	ゴミ削減、分別・再利用
	食	地産地消
	移	公共交通利用　等
	買	必要な量の購入
	住	宅配の一度で受取

国民運動の愛称「デコ活」

○2023年７月に愛称が「デコ活」に決定し、同年８月、ロゴマーク、メッセージ、アクション等も決定。



愛称

国民に広く公募し（8,200件の応募）、愛称公募選定会議で**「デコ活」**※に決定（生みの親↑）

※二酸化炭素(CO_2)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と環境に良いエコ(Eco)を含む"デコ"と活動・生活を組み合わせた新しい言葉

普及浸透 ↓ 実践

◆ ロゴ・メッセージ・アクション

デコ活
くらしの中のエコろがけ

◆ **“くらしの10年ロードマップ”**を策定
進捗フォローアップを行い計画的に実行

デコ活アクション まずはここから

- デ 電気も省エネ　断熱住宅
- コ こだわる楽しさ　エコグッズ
- カ 感謝の心　食べ残しゼロ
- ツ つながるオフィス テレワーク

くらしの10年ロードマップ

デコ活
くらしの中のエコろがけ

○デコ活応援団における協議やパブリックコメントの内容を踏まえ、2024年２月に「くらしの10年ロードマップ」を策定。

策定の背景

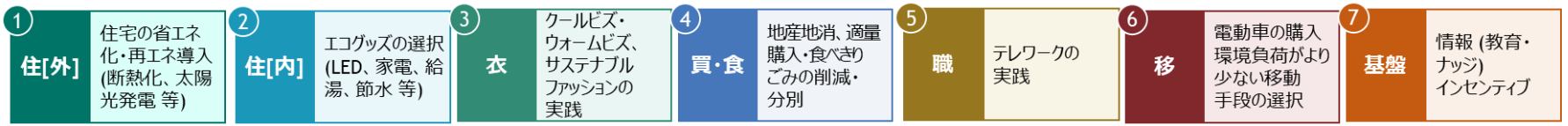
「新資本主義実行計画（Ｒ５.６.16閣議決定）」に基づき、国民のみなさまの行動変容・ライフスタイル転換を促し、脱炭素につながる新しい価値創造・豊かな暮らしを実現するために必要な方策・道筋を示すべく策定しました。

※「新資本主義実行計画（Ｒ５.６.16閣議決定）」における記載内容

「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしをつくる国民運動」を通じ、国民・消費者の行動変容・ライフスタイル変革等を促すため、グリーンライフ・ポイントやナッジの活用等も含めたロードマップを2023年度中に策定する。」

分野と今後

絵姿に基づき、暮らしの全領域（衣食住・職・移動・買物）を７つの分野に分けました。



進捗は毎年、フォローアップを行い、必要に応じて取組・対策を強化します（PDCAサイクルの着実な実施）。なお、その際、必要な項目は「家庭CO_2統計」等を利用し、効率的かつ効果的な調査や把握を行います。

また、中間地点で進捗評価を行い、必要に応じてロードマップを見直します。

「くらしの10年ロードマップ」（概要）

デコ活
くらしの中のエコろがけ

○初めて**国民・消費者目線**で、**脱炭素につながる豊かな暮らしの道筋**（課題と仕掛け）を**全領域**（衣食住・職・移動・買物）で明らかにし、**官民連携**により行動変容・ライフスタイル転換を促進。

国民にとっての**ボトルネック**

課題解消に向けた**仕掛け**（主な対策）

		2024~2026	2027~2029	2030~
意欲	導入メリット・意義が不明 昔のイメージのまま敬遠 手間・難しさの忌避感 問題への理解・関心不足	メリット・意義、最新情報を導入機会と同時に伝達（商業・公共施設等を体験・体感の場に）		
		新築/既存住宅リフォーム+太陽光発電設備・高効率給湯器等のパッケージ化	住	
		商品・ブランド別のエシカル度の見える化	衣	
		サステナブルツアー（出張・旅行 等）、カーボンオフセット付き旅行保険等	移	
		科学的情報等を行動とセットで提供（DXを活用したワクワク感、楽しさなどの動機付け）	基盤	
実践	初期費用・大規模支出 導入に時間がかかる 機会・情報が限定・不十分 慣習・制度が実践を妨ぐ	サブスクリプション型サービスやPPA・リース、環境配慮型ローン等の提供拡大		
		公的支援情報を分かりやすく提供し、複数補助制度の一括申請の受付を拡大	住	
		通常リフォームに合わせた+αの断熱、家電販売時の省エネ・再エネのパッケージ提案	住	
		リペア、アップサイクル・染め直し等、衣類の交換会、回収リサイクルの場の拡大	衣	
		フードシェアリング、フードドライブ・フードバンク活動、エシカル商品サービス等の拡大	買・食	
		テレワークとマッチするよう必要に応じてルール見直し、必要なサービス・インフラ・情報提供	職	
		データ活用した行動見える化、ディマンドレスポンス、住民・従業員へのインセンティブ拡大	基盤	
		費用対効果に優れた気付き・ナッジの提供	基盤	

行動制約 → 行動変容・ライフスタイル転換

「デコ活」における連携・サポートの例

○「デコ活」における主な連携・サポートは、以下のとおり。
○詳細は、デコ活ウェブサイト（https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/）に掲載。

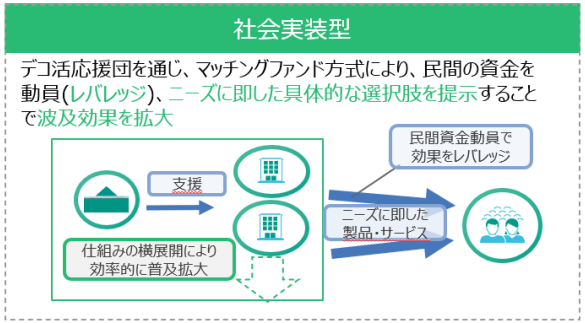
●「デコ活応援団」による連携・マッチング

「デコ活応援団」
（新国民運動官民連携協議会）

●脱炭素型「取組、製品・サービス」の発信



●「補助金」による社会実装型取組支援



●脱炭素ライフスタイル推進室との連携

デコ活
くらしの中のエコろがけ

官民連携でみなさまの行動変容・ライフスタイル転換を後押しします！

「デコ活応援団」（官民連携協議会）の役割・機能

○官民連携で「デコ活」の効果的な実施につなげるため、プラットフォームとして、企業・自治体・団体等による官民連携協議会を国民運動と同時に立ち上げ、一体的な展開を図っている。
○「デコ活応援団」の位置付け＝国・企業・自治体団体等の連携・実践の場＆情報共有・意見交換の場
○官民連携プロジェクトの組成から実施、フォローまで事務局等がサポート。
→**参画者間のマッチング・案件形成・情報発信・補助金**などの支援が可能！

国

企業

4,332主体
（2,642企業、365自治体、534団体、791個人）
令和８年11月６日時点

「デコ活応援団」
（新国民運動・官民連携協議会）

自治体

個人

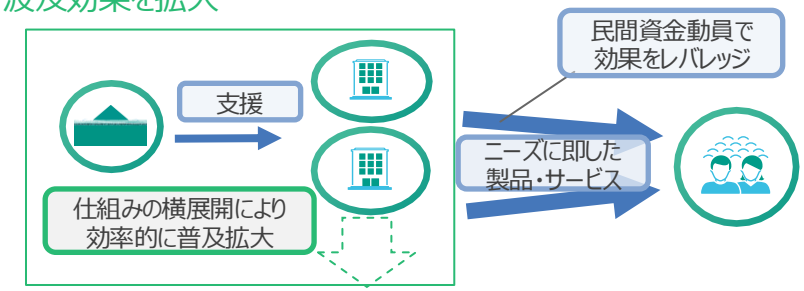
団体

「デコ活」推進に係る社会実装型取組等支援

マッチングファンド方式により、民間の資金やアイディア等を動員し、「新しい豊かな暮らし」を支える製品・サービスを効果的・効率的に社会に実装するためのプロジェクトを実施。※補助率：定額（1/3相当）

社会実装型

デコ活応援団を通じ、マッチングファンド方式により、民間の資金を動員(レバレッジ)、ニーズに即した具体的な選択肢を提示することで波及効果を拡大



※詳細は、一般社団法人地域循環共生社会連携協会（一般社団法人低炭素社会創出促進協会）（rcespa.jp)からご確認ください。

「デコ活宣言」/取組、製品・サービスの発信/「＃デコ活」による発信

環境省

○「デコ活」推進のため、組織（国・企業・自治体・団体）、個人単位で「デコ活宣言」を呼びかけています。
「デコ活宣言」を実施いただくことで、ダウンロードツール等をご利用いただくことが可能。
○ポータルサイトにおいて、「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを支える取組、製品・サービス」の登録を広く受け付け。
○登録いただいたものは、ポータルサイトやSNS等で発信。
○日々の「デコ活」の取組を「＃デコ活」としてSNS等で発信・拡散。

脱炭素に資する取組、製品・サービス

1 デジタルも駆使して、多様で快適な **働き方、暮らし方** を後押し（テレワーク、地方移住、ワーケーションなど）

2 脱炭素につながる新たな暮らしを支える **製品・サービス** を提供・提案

3 **インセンティブ** や効果的な情報発信（気づき、ナッジ）を通じた行動変容の後押し（消費者からの発信も含め）

4 **地域** 独自の（気候、文化等に応じた）暮らし方の提案、支援

デコ活宣言

22,473主体
環境省として宣言したほか、企業・自治体・団体・個人が宣言
令和８年11月６時点

宣言①：製品、サービス、取組展開を通じてデコ活を後押しします！

宣言②：生活・仕事の中で、デコ活を実践します！

ポータル登録数：754件
（デジタル関係：107件、製品・サービス：357件、インセンティブ：213件、地域：77 ※重複有）
令和８年11月６日時点

＃デコ活

（コメントのサンプルです。コピーしてご活用ください）

デコ活しました！
https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/ #デコ活

デコ活
くらしの中のエコろがけ

「デコ活」の新たな展開『らくデコ活』

○「デコ活」の取組をより多くの方の日常に広げるため、2026年9月に**新コンセプトワード「もっとらくする、脱炭素。『らくデコ活』」**を設定。
○一人ひとりの暮らしや関心ごと、価値観を起点とした伝え方へ転換することで、「自分ごと」として捉えられるきっかけをつくり、より広く生活者の行動を後押しする。

新コンセプトワード

らくデコ活
もっとらくする、脱炭素。

【背景】らくデコ活は生活者の意識・本音から生まれました

約3人に2人 の生活者が、電気代を考慮してエアコンをつけるのを我慢したことがある	「ほんとは、我慢したくない。」 暑さや寒さを耐えるのは、やっぱりつらい。
約2人に1人 の生活者が、「エコは面倒」と捉えている	「めんどうなことは、続かない。」 いいことだけでは、動けない。
約4人に1人 の生活者が、脱炭素活動に「たのしさ」を求めている	「どうせなら、たのしみたい。」 好きなことなら、自然と動ける。

出典：「夏の住まいの暑さ・湿気に関するアンケート2025」｜一条工務店　「生活定点」｜博報堂生活総合研究所
「第七回 生活者の脱炭素意識＆アクション調査」｜博報堂

らくデコ活で伝える脱炭素に対する「捉え方」

これまで	これから
環境のために、我慢する。	らくで、たのしいから、行動する。

お問合せ先

環境省 地球環境局 脱炭素ライフスタイル推進室

［室長］細貝

［担当］難波、郡司、水品、海上、堀越、岩尾、鈴木、若松、中野、
大津、山内、中村

住所:〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2

E-mail:decokatsu@env.go.jp　TEL:03-5521-8341(直通) ※土日祝除く

デコ活応援団事務局(EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社(EY))

E-mail:decokatsu.office@jp.ey.com　TEL:050-3033-2248　(直通)※土日祝除く

※デコ活応援団に関することはなんでもご連絡ください！

地域地球温暖化防止活動推進センター

全国に58か所、どこでも相談が無料でできます。各地域地球温暖化防止活動推進センターの連絡先等はこちらから！

全国地球温暖化防止活動推進センター

※全国各地で身近な相談先をお求めであればこれらの機関にご連絡ください！